

# 次世代IoT産業協議会

## ～ヒトの「つながり」が価値を生む時代を創る～

慶應義塾大学 理工学研究科 博士課程  
博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型1期生

永嶋 弘樹

### 政策ビジョン

元来、「**つながっている**」ヒト  
技術によって「**つながり**」をデータ化して価値を生み出す時代を創る

- 人口構造が「騎馬戦型」から「肩車型」になる我が国、産業構造の変化による解決が必須
- 第4次産業革命に係る要素技術の要はデータの扱う「技術」「場(制度含む)」「人材」
- 米／独／中がIoTの社会実装に奔走する中、「協調領域」と「競争領域」の明確化が必要。

#### 1. 技術

##### 次世代IoTのための 革新的要素技術開発



- 革新的IoT導入挑戦支援事業「IoTチャレンジ(仮称)」
    - ・ヒトの運動に着目したIoT支援事業
    - ・本事業はIoT推進ラボの行われる「IoT Lab Demonstration」に続く
    - ・積極的な挑戦を促進するために、事業不成功時の補償を導入
- 大企業(3/4まで) 中小企業(5/6まで)

#### 2. 場

##### 長期的視点による 実用化への早期連携強化



- 構想段階から始める国際標準化
  - ・欧州のモデルを参照し、構想段階から国際標準化を推進する
- 既存の施策との有機的連携
  - ・IoT推進コンソーシアムやロボット革命イニシアティブ協議会を通じて、Industrial Internet Consortium(米)やPlattform industrie 4.0(独)と連携

#### 3. 人材

##### 次世代のIoT人材育成



- 「IoT技術者試験(仮称)」創設
  - ・IoTの知識、実装能力、管理能力を兼ね揃えたIoTスペシャリスト認定(技術者、管理者、スペシャリスト)
- 実践型IoT人材育成プログラム
  - ・専門性とIoT活用能力を社会課題を通じて学ぶ教育プログラム(文部科学省と連携)